

社長も、部長も、みんな若者だった

今年も待ちに待った、新入社員が入ってくる。採用難のこのご時世、縁あって自社に入社する。最近の若い奴は、などいう前に会社側が真剣に育てる姿勢を持つべし。部下は上司を選べない。今後、金の卵を上手に孵化させられるかどうかは、あなたの腕次第！

上司が嫌いなタイプ

テレビで「上司に嫌われる部下」を紹介していた。管理者に「どんな部下が嫌いか」を聞いてランク付けしたものである。第五位 はつきりしない、優柔不断である

意見をも求めている発言しない。

意見をも求めている発言しない。イエスカノーか聞くと「どちらでもいい」「わからない」という。仕事に取りかかるのが遅い。行動が鈍い。細かいことまでいちいち指示しないと動けない。

第四位 協調性がない、わがまま

問題が発生し、みんなが残って処理をしているのに「私は関係ない」と帰ってしまう。チームの集団行動に加わらず一人だけ離れている。

仕事に支障がある時に平気で有給休暇を取るなど、組織行動からはみ出す。「この仕事は嫌だ。こつちをやりたい」「これはできない」とわがままをいう。

第三位 暗い話をしている時、目を合わせずうつ向いている。反応がない。冗談を言っても笑わない。元気がない。目に精気がない。声が小さい。姿勢が悪い。物事全てに消極的。逃げ腰、尻込み、引つ込み思案。会話を避ける。

第二位 責任感がない

仕事でミスをした後謝らない。失敗を反省せず平然としている。自分の責任だと思っていない。

その日に完了させるべき仕事を、やり残して帰ってしまう。

成績が悪くても工夫しない。考えない。努力しない。

第一位 礼儀知らず

挨拶をしない。「はい」と返事をしない。「すみませんでした」と謝らない。「ありがたうございます」と感謝をしない。上司にため口で話す。お客さまに敬語が使えない。姿勢態度がだらしない。

以上が嫌われる点のランキン。管理職は、嫌いな点をそれぞれ増えた。小学校からの勉強第一

経営管理講座 436 染谷昌克

誰もが通ってきた道

「今どきの若い者は」という大人の若者批判は二千年前から行われていたというから、今の若者が殊更ダメになったとはいえない。

しかし現代の子は今までのどの時代にもなかった環境の中で育ってきている。その環境が人間形成に与える影響は大きい。

それは「子供同士が遊ばなくなった」環境である。五歳から十五歳までの少年期に年齢の違う近所の子と遊ばなくなった。

原因ははっきりしている。ひとりっ子、ふたりっ子の家庭が増えた。小学校からの勉強第一主義。塾通いなどで遊ぶ時間が少ない。スマホでのユーチューブやゲームなど室内でのひとり遊びが主流になり外で遊ばなくなった。遊べる場所も少なくなった。コロナ禍での生活は、これらに拍車をかけた。

をつかないなどの精神態度である。小さい子も大きい子もいる、年齢がばらばらの子供の群れ。そこにはリーダー（ガキ大将）がいる。ガキ大将は漫画に出てくるような腕力が強い乱暴者ではない。

ガキ大将は自然にみんなをリードし、他は自然に従う。ガキ大将の条件は①遊びがうまく②強い③弱い者の面倒見がいい④遊び方などで群れが退屈しないようリードする、の三点である。

覗いた鏡に映るのは

嫌われる上司のランキングも上位は

一、責任を取らない上司

失敗は部下のせい、成功は自分の手柄にするタイプ。自分の指示が曖昧だったり、判断ミスが原因でも、決して自分の非を認めない。

トラブル時に逃げる・沈黙する。問題が起きても前に出ず、部下に押しつける。決められない。先延ばしにする。優柔不断。

成果は自分のものにする。チームの成果でも、自分だけが評価されようとする。

二、感情で動く上司

機嫌が悪いと怒鳴る、八つ当たりする、言動が不安定。依怙贖をする。

三、話を聞かない上司

部下の意見を無視する、自分の考えばかり押しつける、人の嫌いな部下と比べると、共通している部分が多い。部下は上司の鏡なのだ。己のことを棚に上げ、ここがよくない、あそこが悪いという上司。それはそのまま自分の姿である。

部下は上司を選べない。「嫌いだ」と言う前に、教え育てるのは上司の使命。そのためには部下よりも仕事ができるのはもちろん、知性人格教養において、数段上の力を持たなければならぬ。畏敬の念を持たれる強い上司になろう。

真剣に本気で育成に取り組み、鏡のなかを覗いてみよう。